

奈良県幼稚園教員等の資質向上に関する指標モデル

奈良県の目指す教育	基本理念 目指す人間像	「育人 ～県民一人一人が学び、育ち合い、潜在力を最大限引き出す～」 Ⅰ 自他を尊び、地域を尊ぶ人～「自尊」「他尊」「地尊」の人づくり～ Ⅱ 確かな学力、豊かな人間性、たくましい心身を備えた人～「知」「徳」「体」の調和がとれた人づくり～ Ⅲ 自立し、主体性をもって行動し、協働して地域・社会に参画する人 Ⅳ 創造性を発揮し、世界に伍して活躍する人	奈良県教育振興大綱
	学校教育目標	日本国憲法、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、人権を尊重する 民主的な社会の形成者として、豊かな人間性と創造性をそなえた国民の育成を目指す	奈良県学校教育の指導方針

スタート時以前	スタート時	分野	項目	基礎期	基礎定着期	向上期	充実期	深化・発展期 (管理職)	
				しる	わかる	のぼす	ひろげる	つなぐ	
コミュニケーション力(多様な理解(人間関係能力)人となつがる)	教育に対する情熱をもち、常に子どもから学び、共に成長しようとしている。常態や礼儀作法を身に付け、高い規範意識をもち、自己の人間性を高めようとしている。	教員等としての素養	人間力	豊かな人間性や社会性、教養等を有し、良好な人間関係を構築する力を備えている 状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝える優れたコミュニケーション能力を備えている 法令や服務規準の遵守を徹底し、高い倫理観や豊かな人権感覚を有するとともに、優れた自己管理能力を備えている					
			情熱	愛情をもって幼児との信頼関係を築いている 教員等としての仕事に対する使命感や誇りをもち、責任感をもって職務に当たっている 幼児の学ぶ意欲や自己肯定感等を高めるため、教員等として常に学び続ける向上心を有している					
情熱・人間性(自尊感情(自己理解能力)自分となつがる)	幼稚園教育要領等に基づいて保育を計画・実施することができる 幼児期の特性を踏まえ、環境を通して保育をすることができ	保育実践力	幼児理解	・幼児理解の意義や重要性を理解することができる	・学級の幼児を取り巻く環境を理解し、幼児一人一人に向き合うことができる	・園の幼児を取り巻く環境を理解し、幼児一人一人に向き合うことができる	・園の幼児を取り巻く環境を理解し、必要な配慮などを園全体に発信することができる	・園の幼児を取り巻く環境について、教員相互の理解を促進するとともに、必要な改善を行うことができる	
			保育構想力	・幼稚園教育要領等に基づいた保育実践を通して、保育の基本を理解することができる	・幼児の興味・関心を踏まえ、ねらいを設定したうえで、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた保育づくりをすることができる	・幼児の興味・関心を捉え、教材を工夫し、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びの実現に向け、意図的・計画的に保育づくりをすることができる	・幼児の発達段階や「幼児期までに育ってほしい姿」を踏まえ、保育内容の精選や指導方法の改善に取り組むことができる ・園内研究に主体的に参画し、他の教員に助言ができる	・教育の系統性を踏まえ、魅力ある保育づくりをすることができる ・園内研究の組織的な運営や地域との連携を行い、目標達成のための研究体制を整えることができる	
			環境の構成と幼児への関わり(援助)	・環境の構成や幼児への関わりが必要となる基礎的な指導について理解することができる	・基礎的な指導のスキルを生かした環境の構成や幼児への関わりができる	・幼児の実態に応じた環境の構成や幼児への関わりができる	・幼児の実態に応じた環境の構成や幼児への関わりについて、他の教員に指導・助言ができる	・園の教育目標達成の視点から、環境の構成や幼児への関わりについて指導・助言ができる	
			評価・改善	・日々の実践を振り返り、課題を明確にし、その解決に取り組むことができる		・自分のよさや課題を認識し、日々の教育活動の改善に取り組むことができる	・各教員のキャリアステージに応じた保育改善の方向性を示すことができる		
			特別支援教育	・特別支援教育の実際を知り、他の教員の協力を得て、支援することができる ・幼児の困り感や保護者の悩みを知り、実態の把握ができる	・「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」等の重要性を理解し、作成・活用することができる ・幼児の障害や発達上の課題、保護者の育児不安や養育等の課題について理解することができる	・「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」等に基づき、効果的な支援ができる ・良好な園生活のために、幼児及び保護者との関係づくりに力を注ぐことができる	・計画的に特別支援教育を推進するとともに、積極的に関係機関と連携することができる ・幼児の教育的ニーズを適切に把握し、他の教員等へ助言ができる	・特別支援教育に関して、園全体のシステムの構築に取り組むことができる ・積極的な関係機関との連携やすべての幼児に対する適切な教育の提供のために、教員に指導・助言ができる	
			幼小接続推進	・幼児教育と小学校教育が接続する意義や「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」について理解することができる		・小学校教育との円滑な接続に向けた学びの見通しをもち、実践ができる	・他の幼児教育施設や小学校との連携に向けて、相互の理解と協力を深めるとともに、接続の見通しをもった教育活動を推進することができる		
教育観(学ぶ楽しさを育てる楽しさへ(専門的知識)学びとなつがる)	幼稚園教育要領等に基づいて保育を計画・実施することができる 幼児期の特性を踏まえ、環境を通して保育をすることができ	連携力	教育の発信と家庭教育への支援	・家庭等に学級の教育方針を伝えることができる ・保護者の思いを受容的に聞くことができる	・家庭等に自園の教育方針を伝え、理解と協力を得ることができる ・保護者との対話を通して良好な関係を築き、相談しやすい雰囲気をつくることできる	・家庭等に自園の教育・保育の意図を伝え、家庭等と協力のもと、教育活動を効果的に進めることができる ・保護者の不安や悩みに寄り添い、受容的に受け止めるとともに、適切に助言ができる	・家庭等に自園の課題を伝え、その解決に向け、共に取り組むことができる ・保護者に教育・保育のプロセスや幼児の育ち、学びの価値を伝えることができる	・近隣の小学校や地域・保護者に対して様々な機会や手段を活用し、情報を発信することができる ・地域や関係機関との連携を密にし、保護者を支援することができる	
			地域との連携・協働	・地域の自然・文化・歴史・産業などについて理解することができる	・地域との連携・協働した教育活動の必要性について理解することができる	・地域と連携・協働した教育活動に積極的に取り組むことができる	・地域の人材と情報を効果的に活用して、教育活動の充実を図ることができる	・地域との連携・協働した教育活動を通して、園の課題解決を図ることができる	
組織運営力	幼稚園教育要領等に基づいて保育を計画・実施することができる 幼児期の特性を踏まえ、環境を通して保育をすることができ	同僚性	同僚性	・報告・連絡・相談を行い、助言を得て、課題の解決に取り組むことができる	・報告・連絡・相談を行い、他者と協力して、課題を解決することができる	・自分の考えを伝えるとともに、相手の立場を理解しながら対応できる	・若手教員と他の教員を繋ぐ役割を担うことができる	・人材育成の視点から若手、中堅教員の適材適所での活用及び指導・助言を行い、よりよい同僚性の構築を促すことができる	
			危機管理	・学校安全に関する基礎的な知識を有し、事象発生時には正しい手順で対応できる ・未然防止のための身の回りの安全点検が確実にできる	・危機管理の重要性や自身の役割を十分理解し、事象発生時には適切に対応できる ・安心・安全な園づくりに他の教員と協働して取り組むことができる	・教員の中心となって危機の未然防止に率先して取り組むことができる ・自園の危機管理の具体的な方法について、他の教員に助言ができる	・自園の危機管理体制を常に点検することができる ・危機管理に関する課題解決に向けた提案、改善など具体的な方法を他の教員に指導・助言ができる	・未然防止のための危機管理と実際の危機を想定した日常の危機管理の分担等を明確にした組織を整えることができる ・事象発生時には迅速かつ確実に対応できるよう、リーダーシップを発揮して各教員に適切な指示ができる	
			マネジメント力	・組織の一員として果たすべき役割を自覚し、協働して様々な事案に対応することができる	・指導・助言を謙虚に受け止めるとともに、主体的に学びの場を求めることができる	・園における役割を見直し、同僚との合意形成を図り、計画的・組織的に職務に取り組むことができる	・園運営について、参画・調整しながら、主体的・計画的に職務に取り組むことができる	・若手教員等を支援し、意図的・計画的・組織的に園運営を推進することができる	